

あけぼの診療所だより



ごあいさつ

皆さま、大変お世話になっております。

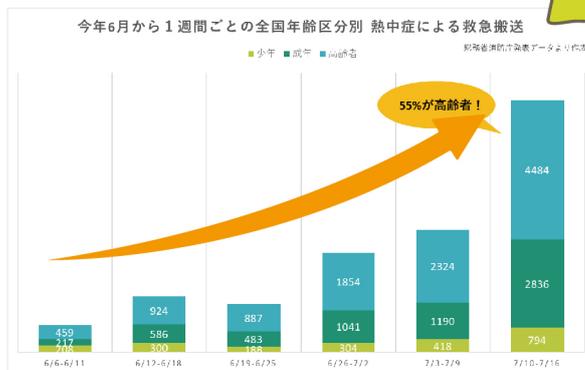
盛夏の折、いかがお過ごしでしょうか？特に訪問サービスでは日中、アスファルトからの照り返しもあり、路面温度が40度をこえることも珍しくなくなりました。

熱中症に関する報道が連日続くなか、私たちの患者さま・利用者さまも同様に熱中症になる方が増えております。ご存じのように高齢者の方はたとえ暑くとも一年中寒く感じる方が少なくありません。サービス事業者の訪問時だけエアコンを入れ、普段から使っているように錯覚してしまい、結果として熱中症でぐったりする「ストレス熱中症」の方も例年お見受けします。

熱中症の正体は、脱水と発汗によるナトリウムの喪失に伴う、食思不振・嘔気・意識障害です。細かな変化もお気づきのことがあればご連絡くださいませ。

当院は普段訪問診療をしている患者さんのみならず、単回の往診も積極的に対応しております。地域の患者さま・事業者さんが安心して夏を乗り越えられるお手伝いできれば幸いです。

熱中症増えてます！



あけぼのコロナウォッチ

新型コロナウイルスの感染が増加傾向にあります。

東京都保健医療局の「最新のモニタリング項目の分析について」からわかるように、最近の定点医療機関当たり患者報告数は昨年（2022年）の第8波の入り口となった10月中旬に類似しており、自己検査などで患者さんの受診行動が異なる点を考慮すると、ピークに向け増加していると感じられます。当院においても、抗原検査とPCR検査の件数は増加しており、下記データと一

致します。またオミクロン株コロナウイルス感染症に似た風邪も流行っており、区別がつきにくい点も難しいところです。在宅や施設の発熱患者さまに対し、昨年と同様に往診での検査を積極的に行います。住み慣れた場所で患者さまたちが生活し続けられるよう、また必要な方には入院に繋げるよう支援を続けてまいります。

①-1 定点医療機関当たり患者報告数



(注) 医療機関からの報告に基づき、迎って修正が加わる可能性がある

体調の管理
気をつけましょう！



診療内容のご紹介



「できません」を 言わないために考える



好きな食事をあきらめないために適切に嚥下機能を評価

患者さまの希望に寄り添うということも私たちの重要な使命です。嚥下機能を評価し好きな食事を叶えるよう診察しました。92歳になるAさんはがんを患い、退院後はベッドで過ごす時間が増えていました。病院の先生からは「誤嚥性肺炎を繰り返す恐れがある。胃ろうをつけてはどうか」と提案されたといいます。しかしAさんは食欲があり、最期まで食事をしたい。Aさんとご家族が在宅医療にこだわったのも肉まんや餃子などの好きなものを食べたいAさんの希望を叶えるためでした。「むせ込みのチェックをしましょう。肉まんを食べているときゲホゲホすることはありますか？」(私)「昨日も問題なく1つ食べました。自分で食べたいって。どちらかという食べ物よりも水分の方が飲み込みにくいです」(娘)

肉まんと水分を飲む様子を検証し、嚥下機能を評価。少しでも食べられる要素がないか探ります。「肉まんも水分も大丈夫でした。水分は飲みにくかったらとろみ剤でとろみをつけてください」(私)私たちはこの段階で食事を許可しました。その後Aさんは誤嚥しても、Aさんとご家族は食事をあきらめません。私たちはAさんの肺炎が再発したら速やかに治療しますが、Aさんとご家族の意思も汲み取り胃ろうなどの医療的介入は勧めず、経過を見守ることに。ご本人の希望に寄り添い叶えることも私たちの役割の一つです。

一日刊ゲンダイヘルスケアにて掲載されたコラムより抜粋
2020年11月より在宅医療の現場を紹介するコラムを執筆しています。

あけぼの診療所にいる 医師は40名！



医師のご紹介

患者様が安心してご自宅で過ごせるようにサポートさせていただきます。

常勤

松阪 諭 先生

腫瘍内科 消化器内科



出身校：兵庫医科大学(1994年卒)
資格等：医学博士、日本がん臨床試験推進機構学術委員会委員、
日本学術振興会審査委員

略歴

2006年 がん研究会 有明病院 (医長)
2013年 南カルフォルニア大学腫瘍内科センター
2018年 筑波大学 (教授)

家で過ごしたいという思いを大切に、人生の質を上げるお手伝いができればと思っています。

常勤

三橋 成輝 先生

脳神経内科



出身校：信州大学(2000年卒)
資格等：医学博士、日本神経学会認定神経内科専門医

略歴

2000年 信州大学医学部脳神経内科
2014年より訪問診療に従事
2021年 北里大学東洋医学総合研究所漢方診療部



定期的に医師がお伺いする総合在宅医療サービス

あけぼの診療所

院長 / 下山 祐人

患者様がご自宅で“自分らしく”療養できる環境を実現できるよう、医療のみならず生活面の課題やご家族の不安にも向き合い、総合的なサポートを行います。

お問い合わせ 受付(月~土 9:00~18:00)

TEL. 03-6457-7237

FAX. 03-6457-7238

〒160-0001 東京都新宿区片町1-1
住友不動産市ヶ谷曙橋ビル3階

あけぼの診療所 新宿

検索

www.akebonoclinic.net



訪問エリア

東京23区はもとより、23区外東地域の一部、
埼玉県南地域の一部にも対応しています。

対応する診療内容

- ①輸血(赤血球・血小板)
- ②中心静脈栄養
- ③在宅酸素療法
- ④人工呼吸器
- ⑤モルヒネ持続皮下・静脈注射など

事業拡大につき / スタッフ募集中!

お気軽にご相談ください

